

STOP
THE
格差社会!

暮らしの
底上げ
実現。

第18回統一地方選挙

知事・首長選挙 5人を推薦

働くことを軸とする安心社会の実現をめざして

知事



告示日
3月26日(木)
投票日
4月12日(日)

鈴木 英敬 (現1・40歳)

鈴鹿市



告示日
4月19日(日)
投票日
4月26日(日)

末松 則子 (現1・44歳)

津市



告示日
4月19日(日)
投票日
4月26日(日)

前葉 泰幸 (現1・53歳)

東員町



告示日
4月21日(火)
投票日
4月26日(日)

水谷 俊郎 (現1・63歳)

朝日町



告示日
4月21日(火)
投票日
4月26日(日)

栗田 康昭 (新・64歳)



2015年3月13日現在

ご家族・親戚・友人・知人に支援の輪を広げましょう。

統一地方選挙において 連合三重が掲げる政策 (抜粋)

〈首長(市町)選挙〉

- ◆ 地域活性化に向けた中小企業・地場産業等の育成・支援と雇用創出、人材育成に取り組む。
- ◆ ワーク・ライフ・バランス社会の実現のための推進体制の強化に努める。
- ◆ 公契約による公正な取引及び人件費の適正な確保に向け、公契約条例の制定に取り組む。
- ◆ 若年層、女性、高齢者、障がい者の雇用対策の強化と男女平等参画の推進に努める。
- ◆ 医療・介護の連携による「地域包括ケア」の体制構築と、地域医療提供体制の確立に努める。
- ◆ 多様な保育ニーズに応えるために子育てを社会全体で支える仕組みの構築に努力する。
- ◆ 大災害などに備えた安心・安全なまちづくりの推進に取り組む。
- ◆ 新しい公共と公平な社会の実現に努める。
- ◆ 子どものための教育の推進と差別のない社会で、住民が希望と生きがいの持てる社会を実現する。



どうせ変わらない…。ではなく、 政治活動に参加して変えましょう!

～政治活動は労働組合とその家族の仕事と暮らしを守ります～

労働組合がなぜ政治活動に携わるのか、私たちがなぜ投票に行かなければならないのか、何をしたら変わるのかなど、素朴な疑問にお答えします。



Q1 なぜ労働組合が政治に参加しなければならないの?



A1 賃金や労働条件だけでなく、社会保障や税などの政策制度にも目を向けないと組合員の暮らしは守れません。

Q2 政治に参加すると何か変わるの?



A2 私たちの意見を代表してくれる議員を政治の場へ送って政策制度を改善しなければ、働く者の意見は顧みられません。

Q3 なぜ私たちがやらなくちゃいけないの?



A3 組合活動と同じで、一人ひとりが政治活動に参加することで社会を良くしていけるからです。

Q4 働く仲間が集まっただけで政治をどうにかできるの?



A4 1人の一票は小さなものかもしれませんが、連合の仲間が集まれば政治への影響力も絶大です。

Q5 連合は特定に政党を支持しているの?



A5 政党支援が目的ではなく、働く者が安心できる社会をめざして政治活動に取り組んでいるのです。

Q6 働く者の声を政治に届けるには、何をすればいいの?



A6 私たちの代表者を一人でも多く議会に送ることが重要です。政策実現のためにはより多くの議席が不可欠です。

Q7 労働組合が選挙に取り組んで法律違反にならないの?



A7 組合の政治活動は合憲です。私たちの政治活動に対して大きな制約はありません。

Q8 インターネットは使っているの? メールは使えるの?



A8 2013年7月の参院選からインターネットを使った選挙運動が解禁されました。メールは、公示(告示)前に政治活動として活用する分には問題ありません。

連合の求める『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて、県や市町の行政に働く者の声を届けて安心して暮らせる社会をつくるため、政治活動に参加しよう。

